

行政視察等報告書（個人用）

令和5年11月5日

知立市議会議員 小林昭式 様

報 告 者	川嶋太久郎（民友クラブ）
日 時	令和5年10月25日(水)～10月26日(木)
視察（研修）場所	福岡県北九州市
目 的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム
【概 要】 大会テーマ「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 ●10月25日(水) ・基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」 講師 片山善博氏 大正大学教授兼地域構想研究所長 ・パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 コーディネーター 谷隆徳氏 日本経済新聞社編集委員 パネリスト 勢一智子氏 西南学院大学法学部教授 辻 陽氏 近畿大学法学部教授 濱田真里氏 Stand by Women 代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表 田仲常郎氏 北九州市議会議員 ●10月26日(木) ・課題討議「議員のなり手不足問題への取組報告」 コーディネーター 江藤俊昭氏 大正大学社会共生学部公共政策学科 パネリスト 辻弘之氏 登別市議会議員 たぞえ麻友氏 一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事 目黒区議会議員 永野慶一郎氏 枕崎市議会議員	
	

【所感、知立市政への反映に向けた課題等】

今回の全国市議会議長会研究フォーラムでの大会テーマは、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」ということで、全国的の議員のなり手不足問題についての報告がありました。本年4月は統一地方選挙があり、全国的に投票率も低下傾向であることに加え、依然として無投票の選挙区も多いとの事でした。今回、女性議員が増加傾向にあるとの結果もありましたが、知立市においては昨年8月の改選においては無投票でありましたし、女性議員の割合も、改選前からは低下するという結果でありました。また、20代30代の若い世代が議員になるという事も少ない事は、全国的にも見られる傾向でした。若い世代や女性に政治に関心を持ってもらえるような仕組みを検討していかないといけないと感じました。開催地である、北九州市においては、「カフェトーク」として議員とまちづくりを語る会を開催しており、若手経営者や大学生と議員が座談会のような形で意見交換を行っております。また、登別市議会議員の方が、地方議員養成講座として、議員の仕事や公職選挙法などを教える講座を行い、参加者の4割は40代以下の方で、その中から実際に統一選挙で当選をされた方もみえました。このように、議員のなり手不足についてそれぞれ知恵を出した取り組みをされている自治体もあり、なり手不足を受け身で考えるのではなく、実際に動き出さなくてはこの問題は解消するのは難しいのではないかと感じました。私も若手の一人として、議員の仕事を知ってもらうような行動を行っていきたいと思いました。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。